

夏合宿 活動記録



2009年6月20日（土）～22日（月）
早稲田大学鴨川セミナーハウス

早稲田大学文化構想学部
社会構築論系 現代共生理論

はじめに

2007年に新設なった文化構想学部の最初の入学者、そして最初のゼミ生。第一期生は、すべて初めてのことでのこと、何でも自分たちで始めていかねばならない。それは特権である。

戸山キャンパスの学部に初めて導入された2年制ゼミでもある。新しい世紀に入って最初の10年が過ぎるときに巣立っていく。ゼミ最初のセメスターを夏合宿で終えた。この成果を、残り3セメスターさらにふくらませて欲しい。

2009年7月

森 元孝

参加者

グループA
グループB
グループC
グループD
グループE

春学期の予定

社会構築論系 共生社会論プログラム 現代共生理論ゼミ Can We Live Together? (定員 1学年15名)

講義要項内容：（1）Can We Live Together? を基本テーマにして、社会学を中心に経済学、政治学、サイバネティックス、統計学の知識と方法を習得しつつ、知的な討論を繰り返して、メンバー各位の固有の意見、理論をまとめていく。コンピュータを十分に使いこなすとともに、フィールド・ワークにも積極的に取り組んでいく。（2）その前半70分はreadingsとし新旧重要文献を読む。後半30分はresearch methodとfield workのための時間とする。毎回90分では絶対に終わらない。疲れたら、みんなでビールを飲みに行く。（3）3年度生の目標は、2年生までに学んだ知識とスキルを確認しつつ、基本テーマについて各自の研究成果をまとめていくこと、4年度生の目標は、1年間行ってきた研究成果を英語でプレゼンテーションをして、議論することにおき、最終成果としてゼミ論文を仕上げることとする。

実験実習費等費用について：年間3回ほど合宿を予定している。合宿ならびにコンバは個人負担。合宿については、大学セミナーハウスを利用し、JR団体割引料金を利用してるので、概ね2泊3日1回13,000円前後となる。

First Quarter :						
月	日	First Period (前半70分)	Readings & Discussion	Second Period (後半30分)	Method I.	On Demand
		「都市<東京>」について考えていく。数種類のテキストをグループ報告とグループディスカッションを繰り返していく。夏課題レポート「都市<東京>を見るパースペクティブ」		新聞データベースの利用法について確認していく。「<新銀行東京>とは何であったか?」をグループでまとめていく。（1）『朝日新聞』『日本経済新聞』DBから情報検索をしつつ、（2）東京都、総務省、経済産業省、財務省の統計情報サイトのデータも参照しつつ、<新銀行東京>の①現在の問題、②石原治世下の経緯、③それ以前の経緯、④地域金融とは何か、⑤今後の可能性、について		
4	8	自己紹介		準備		
	15	ゼミの進め方について		準備		
	22	「親密性と公共性」について報告と議論		準備		
	29	「メディアとコミュニケーション」について報告と議論		①現在、何が問題か?		
5	6	休日				
	13	合宿の準備作業		①現在、何が問題か?		
	20	「空間と場所」について報告と議論		②石原治世下の経緯について		
	27	「街角で感じる<公>と<私>」について報告と議論		②石原治世下の経緯について		
6	3	「コミュニティー・デザインと都市の公共空間」について報告と議論		③それ以前の経緯について		
	10	「<郊外>の誕生と死」について報告と議論、		③それ以前の経緯について		
	17	合宿の準備作業		合宿の準備作業		
		合宿 (6/20-22) 夏合宿 (2泊3日) 鴨川セミナーハウス				
		課題1 「<都市>東京」について分析報告と議論			45分×5	
		「親密性と公共性」「メディアとコミュニケーション」「空間と場所」にある「考えてみよう」の課題から選択をして1グループ45分の分析レポートを作成する。グループ(3人)による5報告(オムニバスでもよい)				
		課題2 「地域と金融 一新銀行東京を事例に」まとめ、分析、議論			45分×2	
		毎週グループ順に集めてきた内容の概説報告と、主題ごとにWorkshopを行う。				
		課題3 課題図書を読み議論する			60分×1	
		『日本住宅公団40年史』について議論する。				
		課題4 課題図書を読み議論する			60分×1	
		芦原義信『街並みの美学』岩波現代文庫を読み議論する。				
		課題5 課題図書を読み議論する			45分×2	
		大澤真幸『不可能性の時代』岩波新書を読み議論する。				
		課題6 レポート制作準備			10分×15	
		各自の夏レポートの方向性について報告				
		森教授講義			80分×1	
		相互作用の音楽の基礎				
7	1	レポート執筆内容要点報告				
	8	レポート執筆内容要点報告				
	15	レポート提出			レポート準備	
	22	オンデマンドによる相互批評			レポート準備	
	29	レポートについての批評会			邦訳提出： 批評と議論	
8		ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。				
9		ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。				

2009 年度 春合宿 スケジュール表

6月20日	
10:30	東京駅八重洲口前 集合
11:00	高速バス 出発
13:00	安房鴨川駅 到着
13:20	鴨川日東バス 出発
13:40	セミナーハウス到着
14:00	課題1(45分×5)
18:00	夕食
19:00	中休み(入浴)
20:00	住宅公団(60分)
21:00	反省会(全員参加)
22:00	自由時間

6月22日	
7:00	起床
7:30	朝食
9:00	銀行②(45分)
10:00	レポート報告②
11:00	合宿終了
11:30	安房鴨川駅 到着
12:00	昼食
13:00	高速バス 出発
15:00	東京駅 到着

6月21日	
7:00	起床
7:30	朝食
9:00	街並み(60分)
10:00	レクリエーション
12:00	昼食
13:00	銀行①
14:00	不可能性①(45分)
15:00	不可能性②(45分)
16:00	レポート報告①
17:30	BBQ準備
18:00	BBQ
20:00	中休み(入浴)
21:00	懇親会(全員参加)
23:00	自由時間

課題1 「<都市>東京」について

「親密性と公共性」 (1) 報告 Dグループ

「電車内の化粧」からみる電車内の公共性やその空間形成について

春合宿 活動記録

2009年6月20日（土）～22日（月）
早稲田大学鶴川セミナーハウス

2009年9月27日 発行

発行者 早稲田大学文化構想学部
社会構築論系 現代共生理論
森 元孝ゼミナール
